

合併よりも小さな町で可能・個性ある町づくり

福岡県大木町のユニークな町づくり

石川隆文元町長の講演と対話の集い

とき 4月11日(日)午後1時半より

ところ 自然休養村管理センター・ホール
入場無料

福岡県大木町の元町長の石川隆文さんをお招きして講演会を開くことにしました。

大木町は、福岡県でもユニークな町づくりで知られている町です。

石川さんは大木町の町長を3期勤められた方です。大木町の町づくりの経験から「これからのまちづくりは、行政も住民もともに汗を流す、行政と住民の協同による町づくりこそ重要だと考えます」と主張しておられます。そして「町づくりのいろいろなとりくみは、小さいからできる。合併したらできなくなる恐れがある」と国による合併の押し付けに反対しておられます。

石川さんの町づくりのお話しは、これからの太良町の町づくりに参考になると思います。町民の皆さんがこぞってご参加いただくようお願いいたします。

石川隆文さん

主催 合併反対・太良町を残す町民協議会

講演会の成功のために、カンパのご協力をよろしく申し上げます

大木町の紹介

福岡県筑紫平野に位置する人口約14,000人の町。日本屈指のクレーク(掘割)が走る。県下有数の米麦地帯。イグサ、ひしの実、いちご、きのこが特産品。

大木町のまちづくりの例

- ・ ごみを資源として再利用した循環型のまちづくり。生ごみを分別収集し、発酵させ、エネルギーと液肥を利用する計画で現在、実証事業中。液肥を有機肥料として使用することで、有機農業をすすめ、安全で安心できる食料作りに。
- ・ 「きのこの里」で農業を活性化
- ・ 活発な住民の自主的なサークル活動
- ・ 草の根の国際交流

(詳しくは、石川さんの講演でお聞きください)